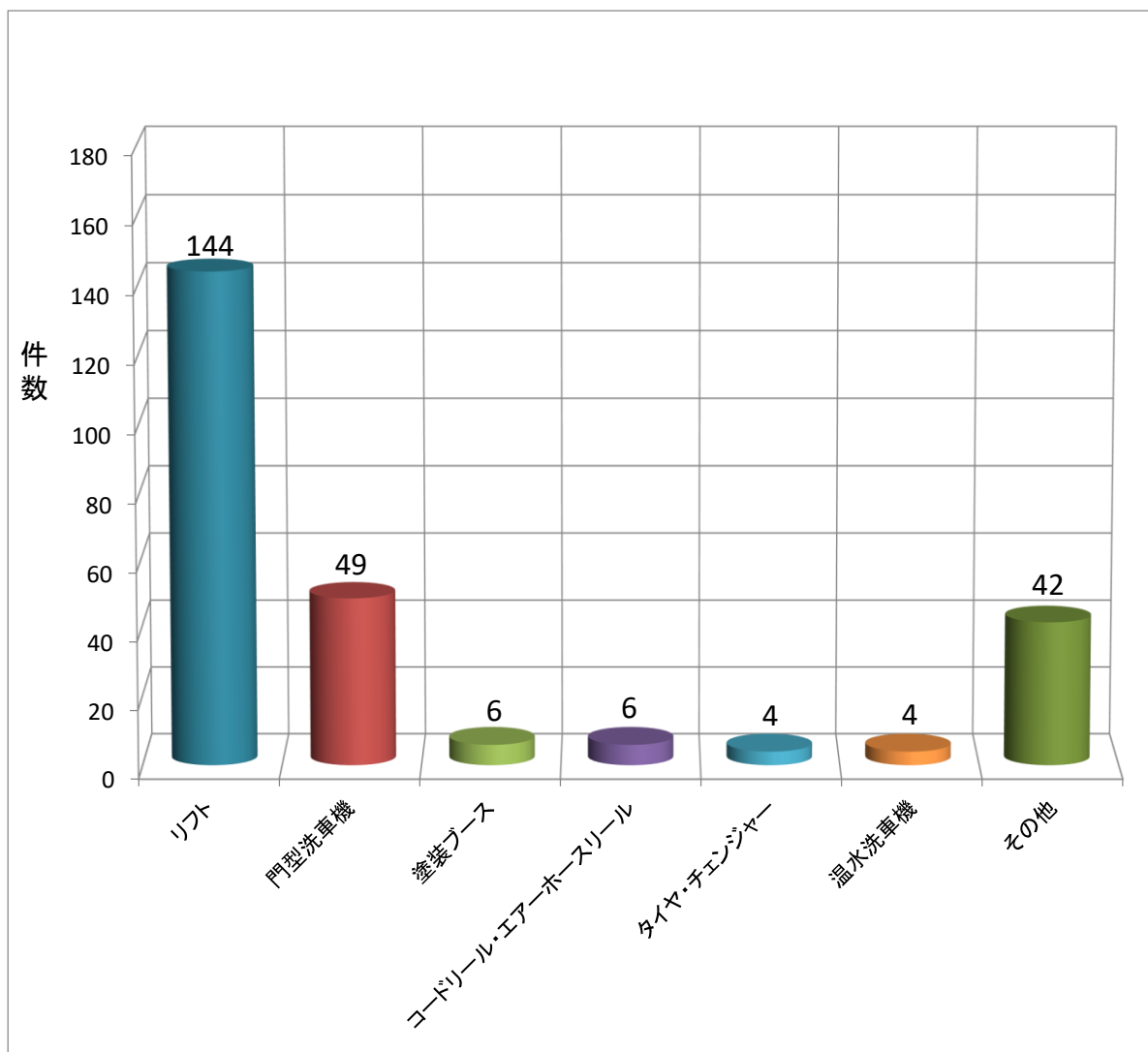


過去10年間(平成28年～令和7年)の事故統計

1. 整備機器別の事故件数

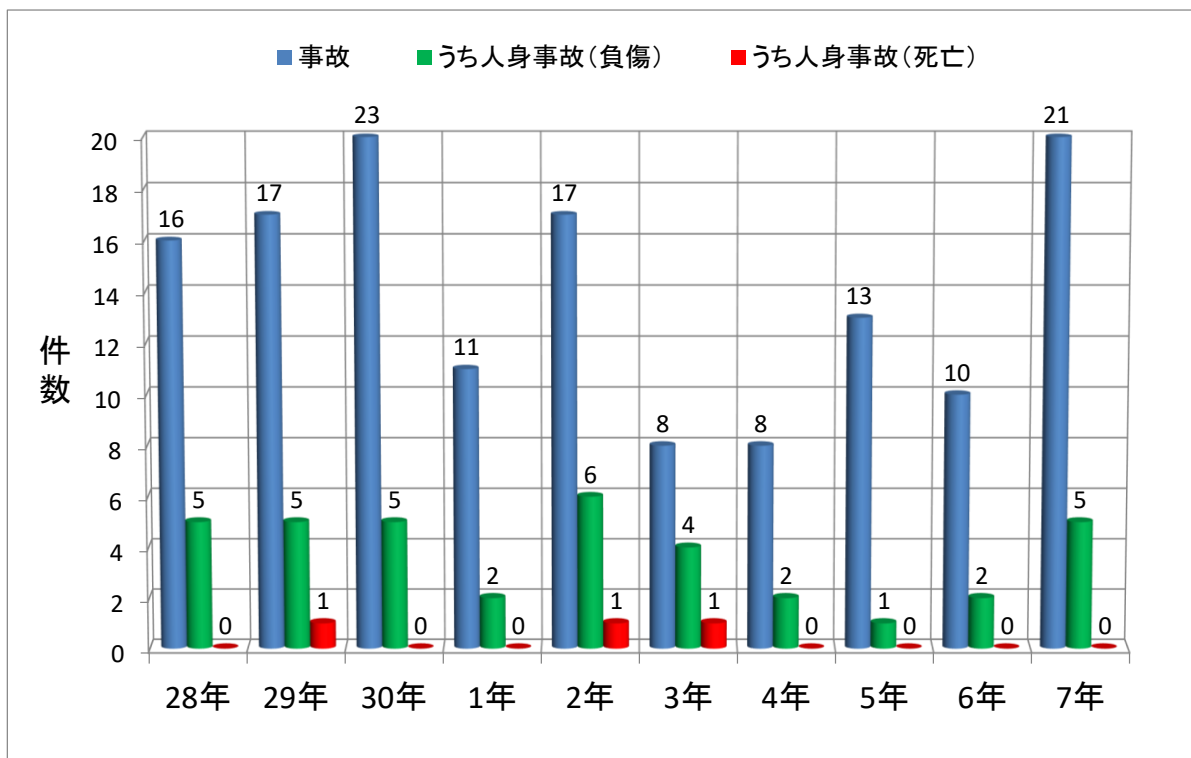


※その他の内訳

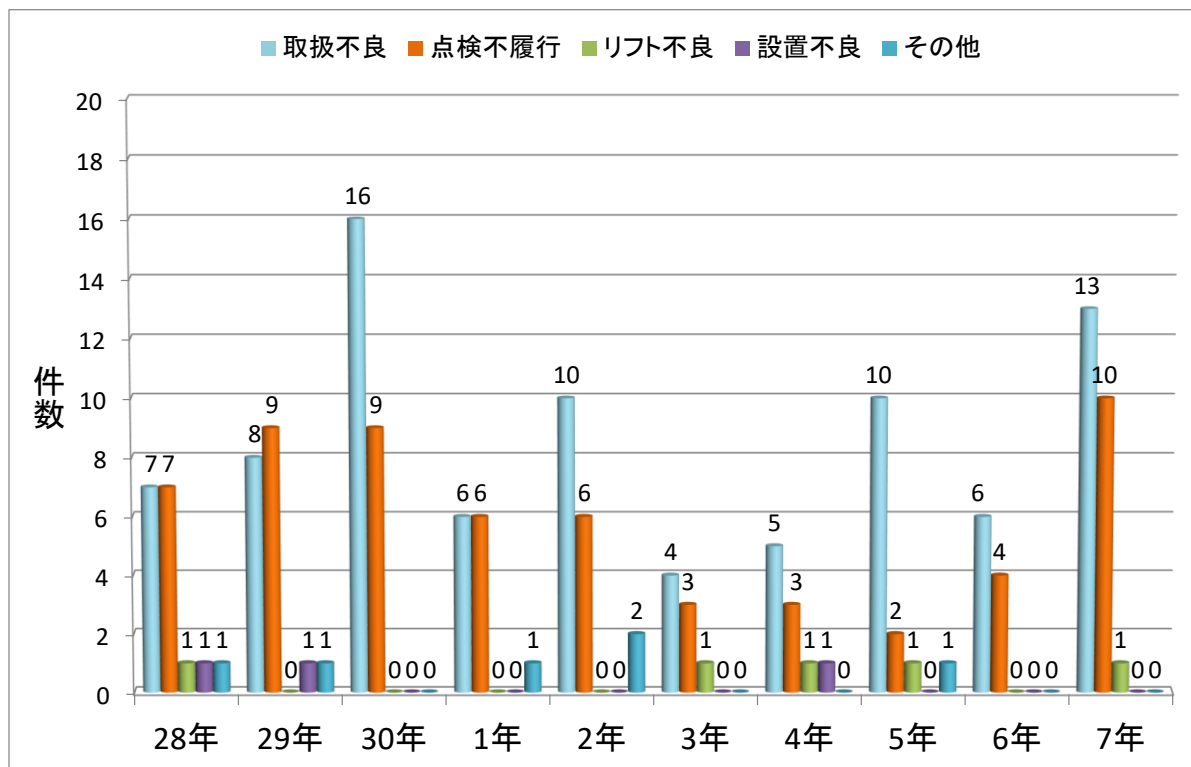
事故件数が3件の機器
スキャンツール、部品洗浄機、ブレーキ・テスタ
事故件数が2件の機器
エアインフレーター、エアコンプレッサー、吊下げ式乾燥ヒーター、バッテリー用補助電源、ヘッドライトテスタ
事故件数が1件の機器
エアインパクトレンチ、エンジנקレーン、オイルチェンジャ、オールドレンクリーニンググリフター、オイル用ポンプ、ガレージ・ジャッキ、工具キャビネット、サイドスリップ・テスタ、集塵機、卓上グライダー、チェーンブロック、排気ホースリール、廃油ポイラー、バッテリー用充電器、ピットジャッキ、ブレーキオイルチェンジャ、フロンガス充填装置、ベアリング給脂機、ホイールバルンサー、マルチテスタ、油圧ジャッキ、油圧プレス、LED式投光器

2. リフトの事故

2-1. 事故件数及び人身事故件数の推移



2-2. 事故原因の推移



※1件の事故に複数の原因がある場合は、重複して計上しています。

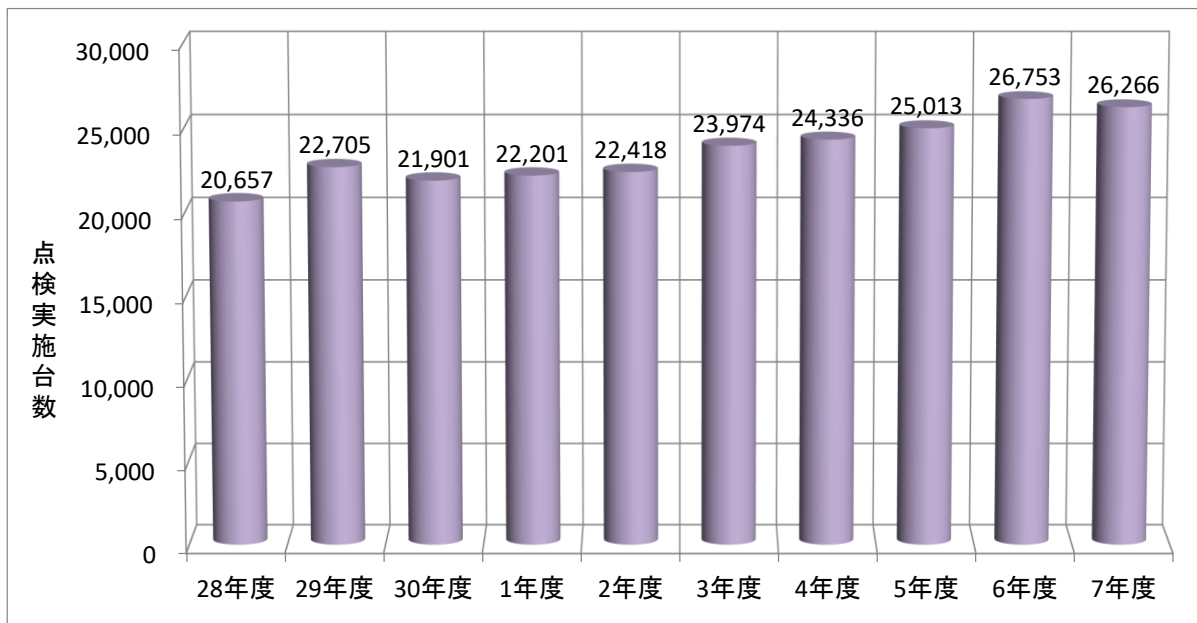
2-3. リフト事故の傾向

リフトの事故は他の整備機器と比べて発生件数が多く、死亡事故や骨折などの重大事故に至るケースも見られます。また、事故原因の約9割は取扱不良および点検不履行によるものとなっています。

2-4. リフトの事故を防止するために

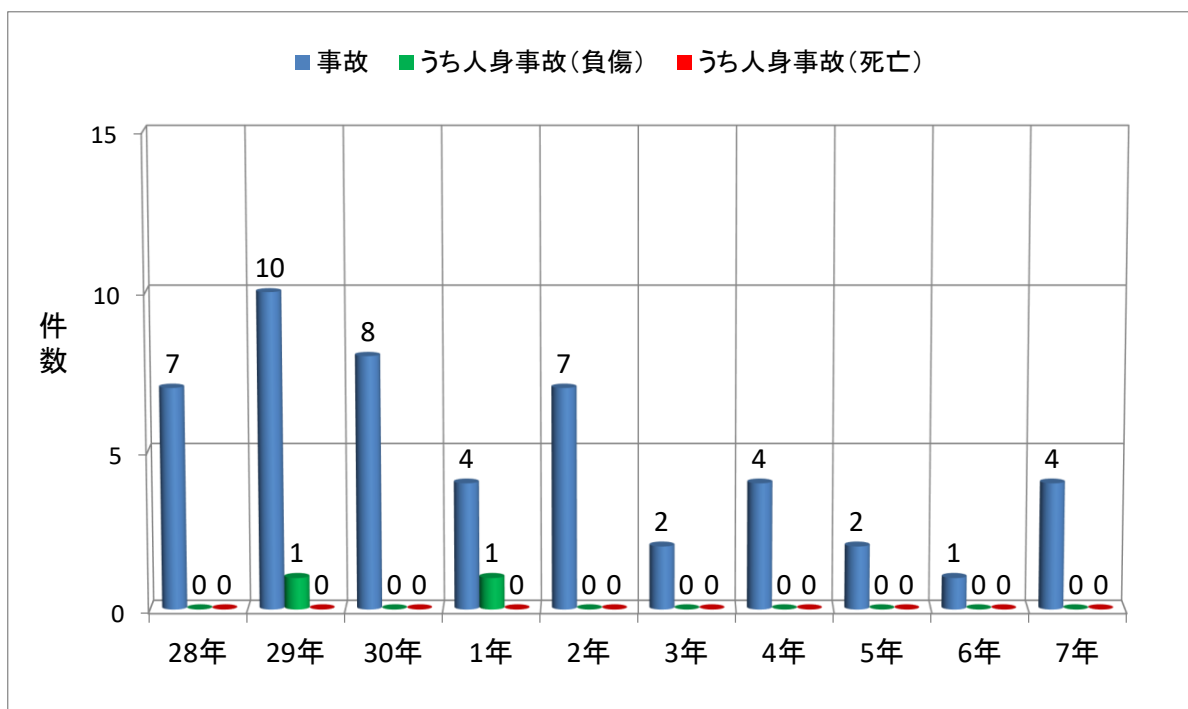
取扱不良や点検不履行による事故が多いことから、これらを防止するため、正しい使用方法の啓発とリフトの日常点検、ならびに点検資格者による定期点検や整備を徹底することが必要です。

【参考】点検資格者による点検実施台数の推移



3. 門型洗車機

4-1. 事故件数及び人身事故件数の推移

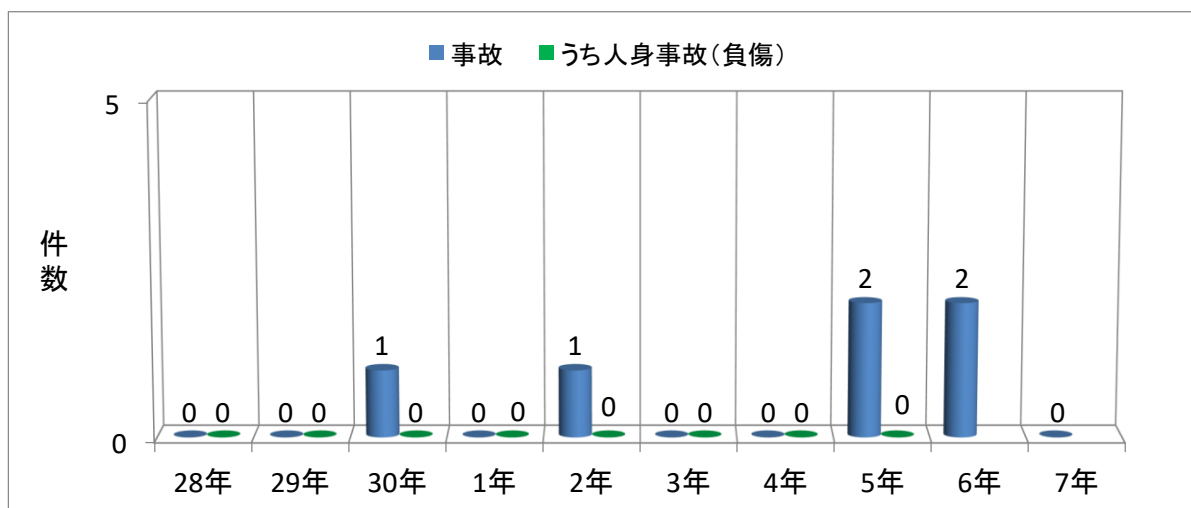


3-2. 門型洗車機の事故の傾向

門型洗車機を設置する整備工場の増加に伴い、事故件数も増加しています。主な事故原因は、車種やオプション品の選択ミス、点検不履行、ならびに車両ドアの自動開閉機能の誤作動によるものが多くを占めています。

4. 塗装ブース

4-1. 事故件数及び人身事故件数の推移

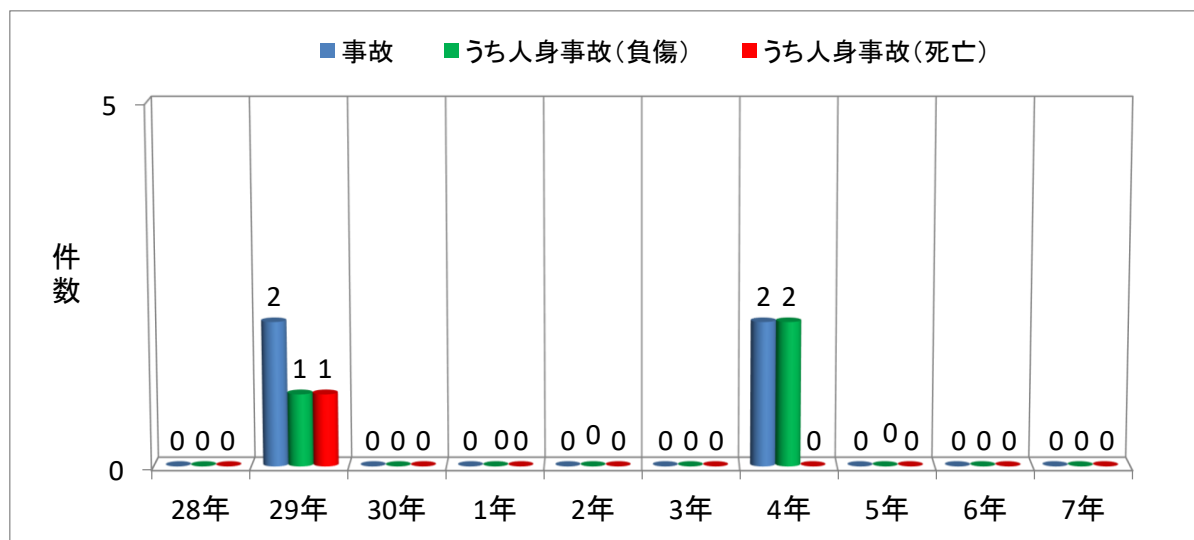


4-2. 塗装ブースの事故の傾向

塗装ブースによる事故では、堆積したミストやフィルターへの引火による火災が発生しています。主な事故原因は、点検不履行や取扱不良によるものが多くを占めています。

5. タイヤチェンジャー

5-1. 事故件数及び人身事故件数の推移



5-2. タイヤチェンジャーの事故の傾向

タイヤチェンジャーによる事故は、取扱方法の誤りによるものが多く発生しており、特に人身事故に至るケースが多いことが特徴です。

6. 事故を防止するために

各機器とも、正しい使用方法の啓発と日常点検や定期点検を確実に行うことで事故防止対策を推進していく必要があります。